

最近増えている大腸の病気のおはなし

葛城病院 内科医長 岡田俊彦

【大腸がん】大腸がんは近年、著しく増加し国立がん研究センターのがん統計では2014年の死亡数は男性3位、女性1位となっています。また2016

年の統計が確定すれば男女合計で患者数1位となると予想されています。これは食生活の欧米化や生活習慣病の増加、腸内細菌や遺伝子異常が原因ではないかと言われています。

大腸がんは大腸の粘膜から発生し、腺腫と呼ばれる良性のポリープががん化する場合と、正常な粘膜の細胞が直接がん化する場合があります。大腸がんの早期発見・早期治療が大変重要になり、そのための最も簡便な検査が大腸がん健診で使われている便潜血反応検査です。進行がんの検出率は90%と優れた検査ですが、小さなポリープを含めた早期がんの検出率は50%以下であり、前述の早期発見という観点からは弱点があります。一方、大腸内を直接観察できる大腸内視鏡検査（大腸カメラ）は小さなポリープも発見でき、その場で切除も可能です。しかし検査前に多量の洗腸剤の服用が必要で、

検査自体の合併症にも

注意が必要です。症状や状況に応じてこれらの検査を上手に組み合わせる必要があります。もちろん健診の便潜血反応が陽性なら大腸カメラが必要ですが、

大腸がんは進行するに従って徐々に大腸壁の奥深くへと侵入していくので、粘膜までにとどまるがんは早期がんであれば、大腸カメラを使って切除（内視鏡的粘膜切除術（EMR））することが出来ます。最近では内視鏡の技術や器具の進歩により、ひと昔前まで外科手術が必要であった大きな早期がんも内視鏡で切除できるようになりました。この手術を大腸粘膜下層剥離術（ESD）と呼んでいます。

【炎症性腸疾患】大腸がん同様に最近増加しているのが炎症性腸疾患（IBD）と呼ばれる病気です。潰瘍性大腸炎（UC）とクローン病（CD）が代表的なものです。これらは国が指定する原因不明の難病で、免疫の異常によって大腸や小腸などの消化管に強い炎症が起こります。もともと欧米に多い病気ですが、我が国でもUCは約20万人、CDで5万人以上と決して珍しい病気ではなくなってきました。

病気がなくなってきました。

ました。UCもCDも初期には顕著な症状はありません。診断を受けてから思い返すと、何年も下痢が続いていた、とか時々大便が出ていた、と気付きます。自然に治ることはまずなく放置すると消化管に潰瘍を作り最悪の場合、腸に穴が開いたり他の臓器と繋がってしまい命にかかわる状態になることもあります。また痔ろうを伴うことがよくあり、診断はUCは主に大腸カメラ、CDなら内視鏡検査に加えCTや消化管造影検査などで行います。残念ながら現在の医療では完全に治癒させることはできないため、治療の目標はあたかも治癒しているかのよう

な状態（寛解状態）へ持ち込むことです。治療薬としてステロイドが用いられてきましたが、最近では免疫を抑える新薬が登場し、治療成績もずいぶん良くなってきました。

当院では大腸カメラ検査の際に希望なら胃カメラと同日検査が可能です。大腸がんについて小さいポリープは日帰りでEMR治療を、大きいポリープならESD治療も出来ます。早期発見・治療のためにぜひ検査を受けましょう。またIBDを診断・治療できる難病指定医が常勤しています。気軽にご相談下さい。

【炎症性腸疾患】大腸がん同様に最近増加しているのが炎症性腸疾患（IBD）と呼ばれる病気です。潰瘍性大腸炎（UC）とクローン病（CD）が代表的なものです。これらは国が指定する原因不明の難病で、免疫の異常によって大腸や小腸などの消化管に強い炎症が起こります。もともと欧米に多い病気ですが、我が国でもUCは約20万人、CDで5万人以上と決して珍しい病気ではなくなってきました。

市民健康講座 入場無料

「内科シリーズ」を開講します

時間…各日14:30～16:00 ※講座のタイトルは変更する場合があります

- 第33回「大腸病のお話」 消化器内科 中 悠
- 第34回「カプセル内視鏡検査のお話」 消化器内科 川崎裕香
- 第35回「潰瘍性大腸炎・クローン病のお話」 消化器内科 岡田俊彦
- 第36回「心臓と血管の病気に関するお話」 循環器内科 保田 一

☆介護相談コーナー☆
各回終了後にケアマネジャーが無料で相談をお受けします。ご自身の身の回りや、ご家族の介護などで心配事はありますか？

場所：葛城病院 2階研修室
お申込み・お問合せは、地域医療連携室まで



医療法人大植会 葛城病院

TEL.072-422-9909(代) 岸和田市土生町2-33-1

【外来診療時間】9:00～11:30/13:00～16:00/17:00～19:30 ※科目により時間が異なります

- 【診療科目】
- 内科 ●循環器内科 ●消化器内科 ●血液内科 ●糖尿病内科 ●外科 ●心臓血管外科 ●消化器外科 ●肛門外科
 - 整形外科 ●脳神経外科 ●形成外科 ●リウマチ科 ●皮膚科 ●泌尿器科 ●眼科 ●リハビリテーション科 ●放射線科
 - 【センター】 ●下肢静脈瘤治療センター ●健診センター ●人工関節センター ●脊椎外科センター

なってきました。当院では大腸カメラ検査の際に希望なら胃カメラと同日検査が可能です。大腸がんについて小さいポリープは日帰りでEMR治療を、大きいポリープならESD治療も出来ます。早期発見・治療のためにぜひ検査を受けましょう。またIBDを診断・治療できる難病指定医が常勤しています。気軽にご相談下さい。